

## IV 事務事業別コスト計算

事務事業別コスト計算は、行政サービスの提供活動である各事務事業に要するコストを、平成19年度決算額をもとに、「行政コスト計算書」の考え方や手法を用いて算出したものです。

平成19年度事務事業別コスト計算は、次のとおりです。

### 1 事務事業別コスト計算の内容

#### (1) 対象会計

行政コスト計算書は普通会計ですが、経費の把握方法等を考慮して「一般会計」で計算しています。

なお、「特別会計」についても計算しています。

#### (2) 対象事業

平成19年度予算に計上している事務事業を対象としています。

#### (3) 事務事業別コスト計算の構成

事務事業別コスト計算一覧は「事務事業コスト」、「財源項目」、「単位あたりコスト」の3項目で構成しています。

#### (4) 「事務事業コスト」の区分

「行政コスト計算書」を参考に性質別経費に区分しています。

・性質別経費

区 分	経 費 内 容
人にかかるコスト	人件費(職員の従事割合に関する調査(業務量調査)に基づく配賦計算により把握)、 退職給与引当金繰入等
物にかかるコスト	物件費、維持補修費
その他のコスト (上記に属さない もの)	扶助費、補助費等、工事請負費(資産形成分) など
総 経 費	上記の合計額

注) 行政コスト計算書での「移転支出的コスト」は「その他のコスト」に含めています。

(5) 財源項目の区分

「行政コスト計算書」の収入項目を参考に区分しています。

区 分		財 源 内 容
特 定 財 源	受益者負担額(利用者など行政サービスの受益者が負担する特定財源)	分担金及び負担金、使用料、手数料等
	その他特定財源(受益者負担額以外の特定財源)	国庫支出金、都支出金、財産収入、諸収入、特別区債等
区 負 担 額 (一 般 財 源)		当該事務事業に投入した一般財源の額

## (6) 単位あたりコストの区分

各事務事業について単位当たり（例えば、教育費の事業であれば児童、生徒1人当たりなど）のコストを算出したものです。

なお、この数値は、円単位で表示しています。

区 分	経 費 内 容
総経費	事務事業コストの「総経費」に対する備考欄の1単位あたりのコスト  [例]小学校施設管理 $\text{総経費}(378,397 \text{ 千円}) \div \text{児童数} = 59,854 \text{ 円}$
区負担	事務事業コストの「区負担額」に対する備考欄の1単位あたりのコスト  [例]小学校施設管理 $\{ \text{区負担額}(378,397 \text{ 千円}) - \text{受益者負担額}(9,238 \text{ 千円}) - \text{その他特定財源}(7 \text{ 千円}) \} \div \text{児童数} = 58,392 \text{ 円}$

## 2 平成19年度事務事業別コスト計算一覧

平成19年度決算数値による計算結果は、(19)～(75)ページのとおりです。

なお、コスト計算した事務事業の総数は、1,064事業です。